

資料編

里庄町公共施設建替基本計画検討委員会名簿

	氏名	所属	備考
1	渡邊 一成	公立大学法人 福山市立大学 都市経営学部 教授	委員長
2	小野 光章	里庄町議会 議長 (委員任期) 令和6年12月11日～令和7年5月8日	副委員長
	平野 敏弘	里庄町議会 議長 (委員任期) 令和7年5月8日～令和7年11月11日	
3	岩崎 隆吏	顧問建築士	
4	岡本 貴之	浅口商工会 常任委員	
5	小野 愛	里庄町教育委員会 委員	
6	佐藤 泰徳	里庄町文化協会 会長	
7	柴田 弘之	才申自主防災会 会長	
8	高田 桂子	里庄町若草むつみ会 会長	
9	高田 亮	町民代表 高岡分館長	
10	濱田 順子	社会福祉法人 里庄町社会福祉協議会 係長	
11	安田 裕子	子育てひろば「げんキッズ」 デイリープログラム 講師	
12	山本 益大	里庄町老人クラブ連合会 会長	

定期利用団体との意見交換会

定期利用団体による意見交換会を実施し、「誰もが使いやすい施設」をテーマとして、新施設に必要な機能・設備について検討しました。

(1) 実施概要

【参加団体】 里庄カレッジクラブ、里庄虚空蔵大学、里庄町文化協会、里庄町スポーツ協会、ボランティアつばき会、男性料理教室、その他 計 59 団体

【実施日】 令和7(2025)年6月8日(日) 10:00~12:00

里庄総合文化ホール「フロイデ」電動中ホール

【意見交換の視点等】

- ・新たな施設の諸室の仕様（部屋の種類〔フローリング、和室等〕、広さ、備品等）
- ・新たな施設の共有スペース（エレベーター、階段、トイレ等）で配慮すべき点（若者や高齢者、車いすの方も利用しやすい工夫）
- ・災害発生時の避難所として活用する際に必要な機能等
- ・その他、誰もが使いやすい施設とするために配慮すべきこと

(2) 実施方法

- ①誰もが使いやすい施設についての考えをグループ内で話し合う。
- ②共通意見等を取りまとめ。
- ③各グループの意見結果を発表。



グループワークの様子

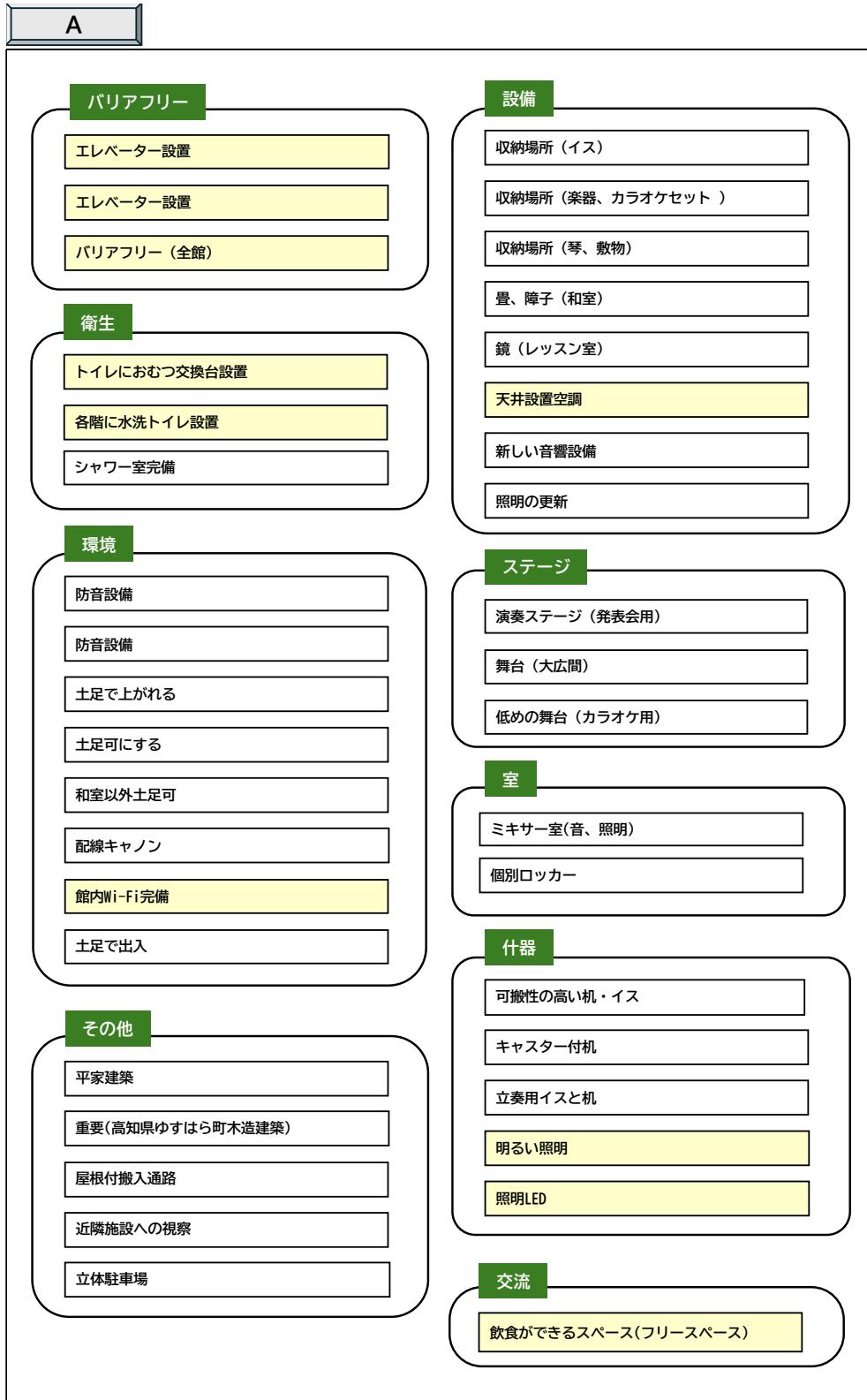
(3) 意見交換会の実施結果

意見交換会では、定期利用団体の方の主体的な参加により、各グループ（A～F）から具体的な提案を数多くいただきました。これらの意見を参考に、新施設の軸となる機能を基本計画本編に反映しています。また、その他の意見は、設計段階で検討していきます。

全6グループの意見は、次のとおりです。

①Aグループの意見結果

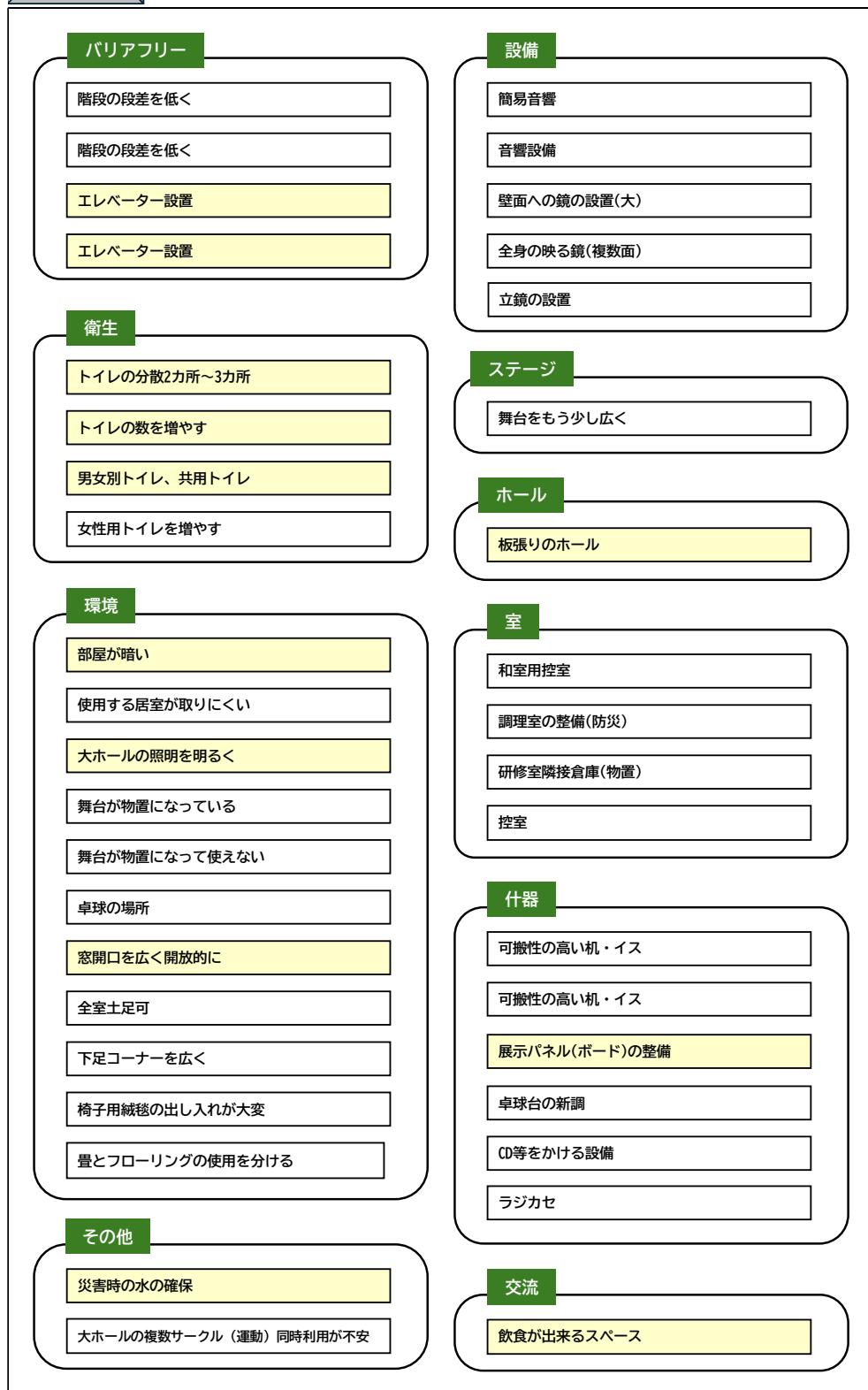
- ・ → 新施設の軸となる機能を基本計画本編に反映
- ・ → そのほかの意見は、設計段階で検討



②Bグループの意見結果

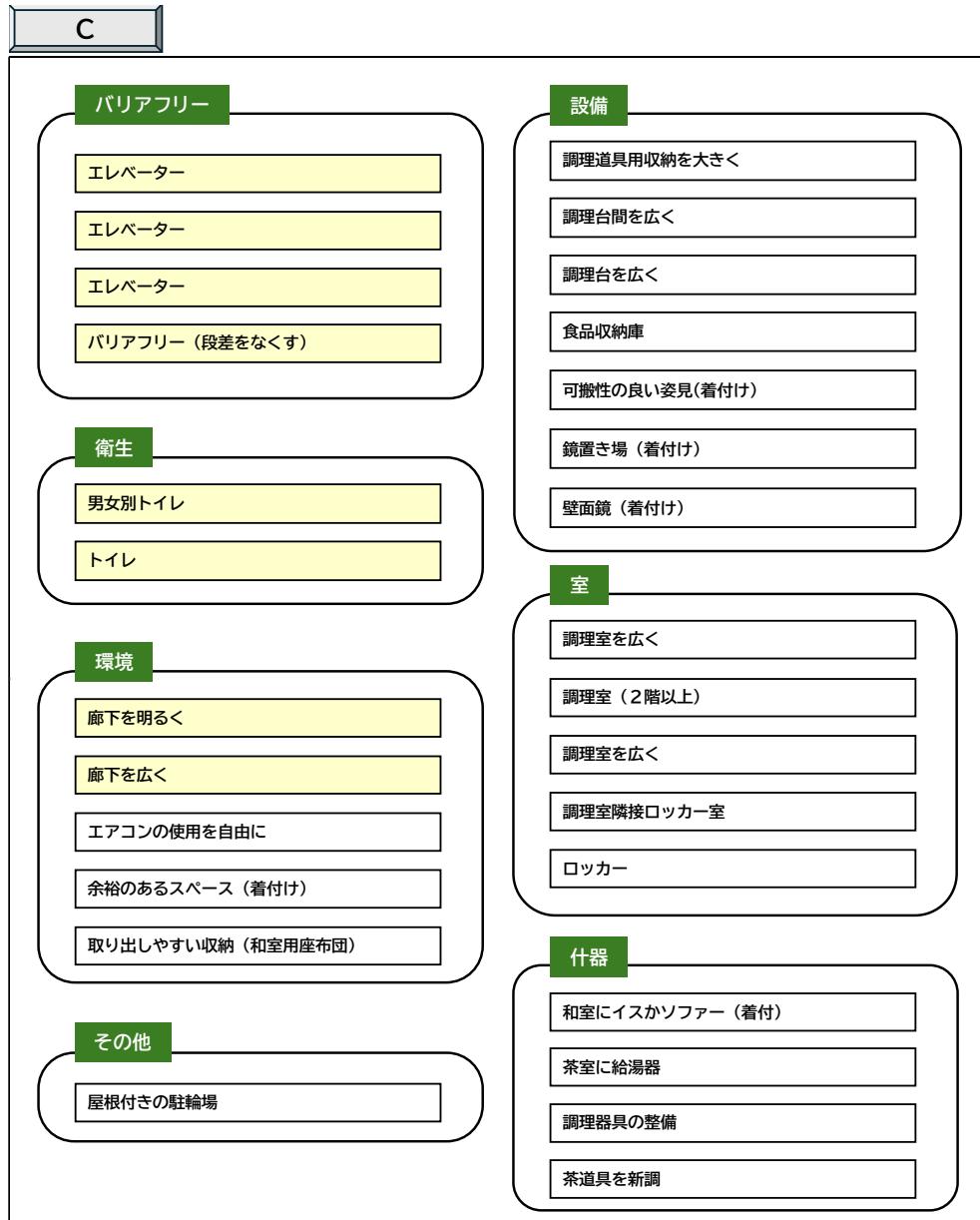
- ・ → 新施設の軸となる機能を基本計画本編に反映
- ・ → そのほかの意見は、設計段階で検討

B



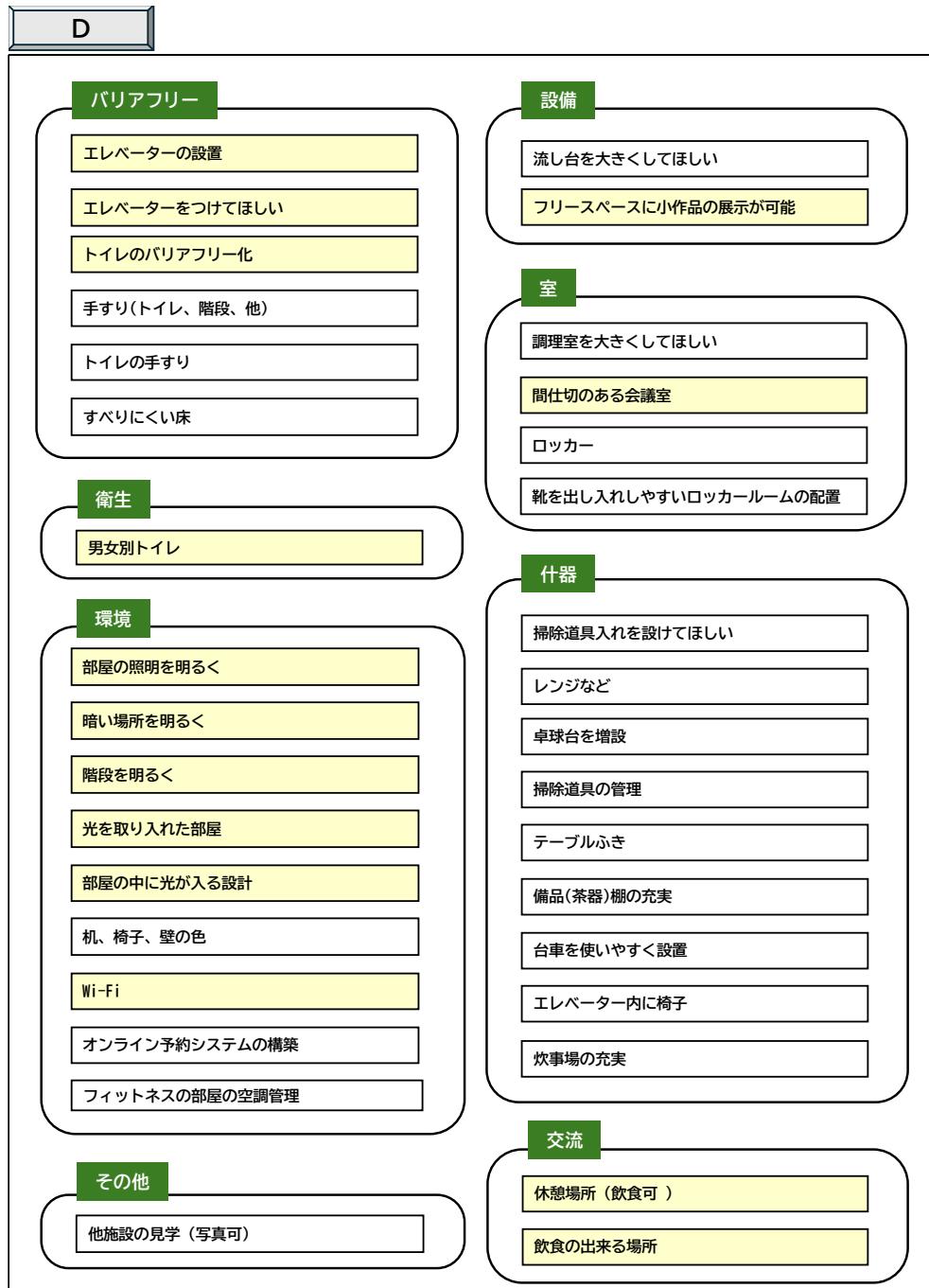
③Cグループの意見結果

- ・ → 新施設の軸となる機能を基本計画本編に反映
- ・ → そのほかの意見は、設計段階で検討



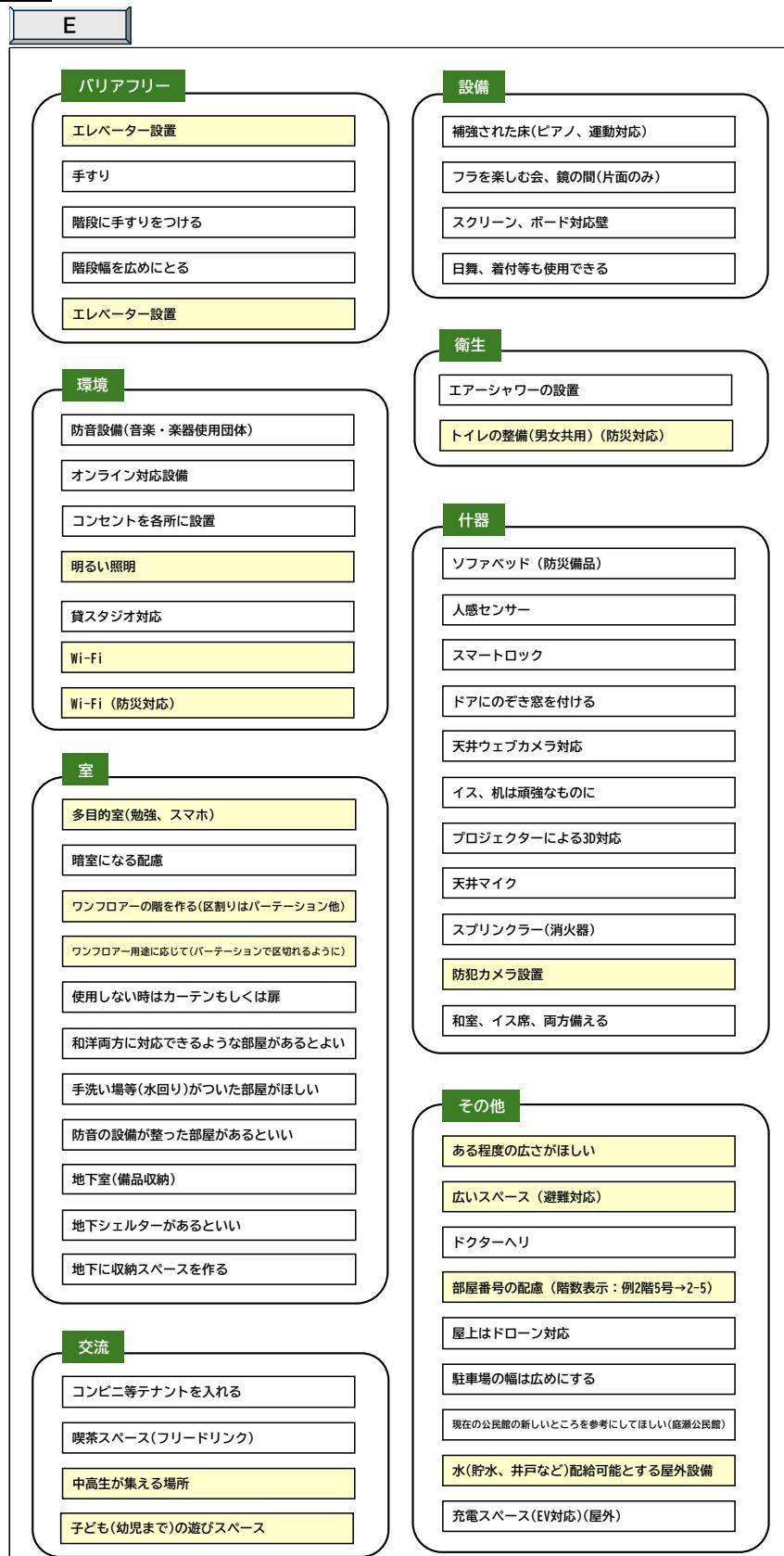
④Dグループの意見結果

- ・ → 新施設の軸となる機能を基本計画本編に反映
- ・ → そのほかの意見は、設計段階で検討



⑤E グループの意見結果

- ・ → 新施設の軸となる機能を基本計画本編に反映
- ・ → そのほかの意見は、設計段階で検討



⑥ F グループの意見結果

- ・ → 新施設の軸となる機能を基本計画本編に反映
- ・ → そのほかの意見は、設計段階で検討



(4) 基本計画への反映

各グループの意見を整理し、基本計画へ反映しました。

(例) 衛生 トイレについての意見

グループ	意見
A	トイレにおむつ交換台設置、各階に水洗トイレ設置
B	トイレの分散2カ所～3カ所、トイレの数を増やす、男女別トイレ、共用トイレ
C	男女別トイレ、トイレ
D	男女別トイレ
E	トイレの整備(男女共用) (防災対応)
F	男女別トイレ、洋式トイレ増設、洋式トイレ（ワイド）、土足で行ける洋式トイレ、障害者用トイレ設置

上記の意見を参考に、基本的機能を作成しました。

里庄町公共施設建替基本計画

4.4. ユニバーサルデザイン

施設利用者や職員の誰もが安全で使いやすく、安心して利用できる施設とするため、ユニバーサルデザインを導入します。

4.4.1. わかりやすさへの配慮

初めて施設利用者にもわかりやすい施設とするため、わかりやすさを優先した案内表示を導入します。

- ・ピクトグラム（絵文字）やカラーコードによるデザインに対応し、色・形・大きさに配慮した案内表示を導入します。
- ・説明ブロックや案内図、点字ラインの設置を検討します。



室内表示（板）の事例



ピクトグラムの事例
お手洗 Toilets
スロープ Slope

4.4.2. 快適な移動空間

施設内の廊下は、車いすやベビーカー利用者にも配慮し、段差削除やゆとりのある幅、転倒できるスペースを設けます。また、上下階への移動が容易となるよう、エレベーターを設置し、エレベーター・昇降口は、出入口からわかりやすい配置とします。



段差がないエントランスの事例



スロープの事例

4.4.3. 多様な利用者への配慮

高齢者や子ども連れ、身体が不自由な方の多様な利用者の利便性向上を図るため、誰もが気軽に施設を利用し、快適に利用できる新設をめざします。

- ・新施設内の適切な位置に、衛生的・快適性のあるトイレを配置します。
- ・トイレには、車いすやオストメイトの方の多目的トイレを構造します。子育て世代や高齢者等の多様な利用者に対応するため、マイルドシートや手すりを設置します。
- ・子ども連れの利用者のために、授乳室・ベビーベッド・キッズスペース等の設備を検討します。



トイレサインの事例



多目的トイレの事例



授乳室の事例



キッズスペースの事例

*ピクトグラム：意味を放ちなくとも、情報を伝えられるように標準化されたデザイン
*カラーユニバーサルデザイン：多様な色覚に対応し、情報をすべての人にとって正確で伝わるようにデザインすること